

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

公明党

藤浪 清司 議員

未利用公共施設の売却について

（質問）建物解体を条件に市有地を公売する際に、土地評価額に対し落札者が負担する解体費用が上回るものに対して解体後に負担金を支払う「マイナス入札」など、未利用公共施設の売却手法についての考えを尋ねる。

（答弁）公共施設マネジメントは今後、公共施設再編を課題としており、その再編過程で生じるであろう未利用公共施設の取り扱いについて検討した結果、売却と判断される場合は、マイナス入札を含むさまざまな事例を参考にして最も適切な手法の採用に努める。

その他の質問 ○交通安全対策



新緑風会

加藤 公友 議員

子育て世代が安心して暮らせる環境整備について

（質問）小・中学校のトイレ洋式化率は、三重県平均62.4%に対し、鈴鹿市は43.2%と大きく遅れ、県内でも最低水準である。学習環境の改善や防災拠点としての機能強化のためにも、早急な整備が求められる。現状と今後の整備方針について伺う。

（答弁）近年の猛暑を踏まえ、まずは児童生徒の健康と安全を守るため、空調設備の整備を優先している。洋式トイレについては、今後、学校の建て替えや長寿命化工事に併せ、計画的に改修を進めていく方針である。



新緑風会

松葉谷 光由 議員

地域公共交通について

（質問）山口市では、複合的な施策によって、マイカーに依存しない移動環境づくりが実践されている。今回の実証事業の成果を踏まえ、「鈴鹿市ならでは」の持続可能な交通施策を、より一層積極的に展開すべきであると考えているが、お伺いしたい。

（答弁）地域の実情に応じた移動手段の導入を目指す。また、市内と隣接市を結ぶバス路線の確保に努めつつ、市内の拠点間を結ぶC－BUSを運行し、持続可能な地域公共交通の構築に向けて維持・改善を図る。

その他の質問 ○鈴鹿フラワーパーク



市民の声

藤井 栄治 議員

海岸堤防と大津波警報への対応について

（質問）本市の海岸堤防について地震を考慮した改築工事を早急に行うべきではないか。大津波警報が発表された場合の避難所対応は、地域の各自治会などと連携すべきではないか。

（答弁）海岸堤防の管理は三重県であり、国や県に対し予算確保などを要望していく。南海トラフ地震発生時の本市避難者数は、避難所へ1万2,000人、その他へ6,000人を想定している。市内12カ所の基幹収容避難所の収容人数は約8,000人であり、各自治会の緊急避難所など、地域との連携に努めていきたい。



市民の声

藪田 啓介 議員

市政情報の発信について

（質問）鈴鹿墨書道わあるどかつ、鈴鹿市美術展などの市主催イベントにおいて、議員への通知文書が開催直前に発出されるなどの不適切な事務が見られる。他にも重要なイベントが市ウェブサイトに掲載されていない。職員の緊張感やチェック体制に疑問を感じるがなぜか。

（答弁）当該イベントについては事前に広く周知した上で、議員には開催直前の情報共有として発出している。市ウェブサイトへの不掲載については、システム上のイベントカレンダー機能の活用を徹底する。



市民の声

中西 大輔 議員

気候変動を受けた雨水対策について

（質問）鈴鹿市総合雨水対策基本計画について、流域治水の視点を踏まえ、防災・減災や土地利用政策と一体で検討する総合的な計画として改定あるいは新たな計画として策定してはどうか。

（答弁）令和10年を目途に、総合雨水対策基本計画を見直す考えである。見直す際は、気候変動の影響で激甚化、頻発化する災害に対応し、早期に防災・減災を実現するという考えも踏まえ、より良いものになるよう、関係部署で連携して積極的に取り組む。また、防災を「自らの問題」として捉えてもらえるよう分かりやすい情報発信に努める。

